



財政が硬直化している！

諸経費で予算の大半を占めている。財政の弾力が失われ、貯金を削り、借金を増やしている。行財政改革を強力に進めるべき！

期を逃すことなく政策実行を！

自主財源確保のため電力需給契約の見直し(PPS導入)を行ったが、政策判断に時を要し、1億円以上の収入を逃した。

オリンピック関連予算も支出前後に検証を！

五輪を理由に甘い予算となり「バラマキ批判」を受けないよう、支出前後の検証をしっかりと行うよう求めた。

平成26年度 主要事業の中から3事業について質疑

☆ **市公式ホームページリニューアル** … 災害時対策として庁内サーバをクラウドサーバへ。併せて、スマートフォンやタブレット端末等への対応、高齢者・障害者等配慮設計指針への準拠、検索性向上を目指し、情報を整理し分類を見直すなどの現状課題の解決を図る。



現在、有償の地図情報システムを入れているが、今回無償の地図情報システムを利用すること、同種のもので2つ必要なのか、無駄があるのでは？

答) デメリットも考えられるので、最適な方法を検討し採用したい。

どう使っていくかを考えると、ホームページの作成が市全体の広報戦略を考慮して作られていないことが問題で、庁内体制を変える必要があるのでは？

答) ホームページ事務を今後、情報統計課から広報室に移管していくことを検討。

☆ **幼児のむし歯予防推進事業** … 平成26年度から市内の希望する市立・私立保育園と幼稚園のすべての5歳児を対象に昼食後週2回のフッ化物(フッ化ナトリウム溶液)洗口を実施する。

なぜ5歳児？ … フッ化物洗口は永久歯のむし歯予防に効果があり、生え始めが最も効果的であり、第一大臼歯の生え始めである5歳児を対象年齢とした。

効果と安全性は？ … 厚生労働省、WHO(世界保健機関)、日本歯科医学会などで効果及び継続性の面から優れたむし歯予防法として推奨されている。



私が調べたところ、第一大臼歯の生え始め時期は6～7歳となっており、継続性が重要であるとのこと。予防医療・将来の医療費削減の観点からも小学生に対しても行うべき事業であると、教育長に対し検討を申し入れ。

☆ **紙・布類の収集拡大モデル事業** → **川口も応援**

市民の排出機会の拡充により、可燃ごみの中に分別されずに捨てられる資源物を減らし、ごみの減量化を推進できるか検証することを目的とするモデル事業。紙類の定期収集を月1回から月2回に。布類も新たに月1回の定期収集を実施し、排出状況や対象地域住民の意向調査を行う。

可燃ごみ中の約4割は資源!?(紙類24%・布類16%)

質疑の中で紙類の中でもティッシュやお菓子の箱などの雑紙の多くは可燃ごみとして捨てられている現状が示された。



ごみ処理の経費は約52億円！

紙 経費の削減には市民の協力が必要！ 紙